

「10年後の静岡を創るスーパーセミナー」(第3回：人・モノ・カネが静岡を駆け巡る～産業基盤の刷新) 平成29年2月11日(土)開催  
 座長・講師への質問と回答 ※セミナー終了後のアンケートの座長、講師への質問欄に寄せられた質問への回答です。

質問等	回答
<p>中部横断自動車道を開通させることで、静岡ー山梨・長野間の交通の利便性は、飛躍的に向上しますが、採算が取れるのでしょうか。また、採算をとるためには、具体的にどのような活動をしていくのでしょうか。</p>	<p><b>【中日本高速道路(株)東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b>                      高速道路はネットワークとしての機能を有しており、整備に伴う効果(渋滞緩和や交通事故の減少など)を社会的・経済的な側面から事業の妥当性を評価しております。開通後の高速道路を更にご利用いただくために、高速道路料金の企画割引(一定の期間中、一定のエリア内を乗り降り自由にする企画や、特定の旅行とセットにした企画などがあります)や沿線地域と連携し、地域の魅力を広域で広報することなどを行ってまいります。</p>
<p>周囲への騒音対策について教えてください。</p>	<p><b>【中日本高速道路(株)東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b>                      騒音対策として、周辺環境に応じて橋梁の連続化や橋梁の継ぎ目の削減、遮音壁の設置などにより走行音の減少に取り組んでいます。</p>
<p>司会者が鈴与からの講師の発表後に「中部横断自動車道ができた際に(逆に)優位だったものが変わるものはないでしょうか。」と発言されていましたが、そのようなものがありましたら、御願います。</p>	<p><b>【中日本高速道路(株)東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b>                      高速道路などの交通ネットワークができることにより懸念される事項としては、都市と都市がつながることで大都市が繁栄し、小都市が衰退してしまう「ストロー現象」があります。そのほかにも、目的地までの旅行時間が短くなることにより、日帰りで観光に訪れる人が増え、宿泊で観光される人が減ることで、全体としての観光収入が減ってしまう、といったことが起こることもあります。</p>

質問等	回答
<p>糸魚川－富士川構造線や富士川河口断層がはしっていますが、中部横断自動車道の地震対策とその応急復旧等の対策を教えてください。</p>	<p><b>【中日本高速道路（株）東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b></p> <p>中部横断自動車道の橋梁の地震対策としては、阪神淡路大震災後に出された基準に基づき、設計・施工し安全を確保する構造としています。具体例としては、橋の支承（橋脚や橋台と橋の上部をつなぐ部分）に特殊なゴムでできた免震支承を採用して揺れを抑え、さらに落橋を防止するために橋の上部と橋台を鋼線などでつなぐといった工夫を施しています。トンネルは一般に地震による影響は小さいと考えられていますが、トンネル内空に取り付けられている換気設備などの重量物については万一取り付け金具が破損しても落下しないよう、落下防止用のワイヤーを施すなど二重の安全対策を実施しています。</p> <p>また、万が一災害が発生した場合の早期復旧を図るために、維持管理を担うグループ会社を含めた復旧資材の準備を進めるとともに、防災訓練などを通じて日頃から準備をしています。</p>
<p>沿道の賑わいを、どの様に創っていくのか、東名高速道路から新東名高速道路周辺へ賑わいを拡大していくためには何が必要なのか教えてください。</p>	<p><b>【中日本高速道路（株）東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b></p> <p>新東名高速道路沿線の賑わいの拡大は確実に進んでいます。静岡県内の新東名高速道路沿線の工場立地件数は開通してから2年間で2倍に増えており、物流拠点の設置も進んでいます。また、沿線地域での観光入込客数も増加傾向にあります。今後もこの傾向をさらに続けていくため、サービスエリアやパーキングエリアなどを活用し、高速道路のお客さまと地域との交流を促進するための、取組みを地域の皆さまとともに考え、実施していきたいと考えています。</p>

質問等	回答
<p>中部横断自動車道の完成が遅れていると感じますがその原因は何ですか。また、いつ頃完成予定でしょうか。</p>	<p><b>【中日本高速道路（株）東京支社沼津工事事務所 黒田所長】</b></p> <p>中部横断自動車道の新清水JCT～増穂IC間には合計30本のトンネルがあります。トンネルによっては想定以上に脆い地盤によりその掘削工事が難航しているといったことから、当初目標としていた開通時期に遅れが生じています。新清水JCT～富沢IC、富沢IC～南部IC、下部温泉早川IC～六郷ICは平成30年度、南部IC～下部温泉早川ICは平成31年度を予定しております（富沢IC～下部温泉早川IC間ではトンネルの進捗が順調な場合）。</p>
<p>コンパクトシティの実現に向け、バス網のより一層の整備や電車、バスの乗り継ぎ改善、バス優先信号の導入など、ハード・ソフト面両方での課題は山積していると思われるが、静岡鉄道としては、どう考えているのか。</p>	<p><b>【静岡鉄道（株）不動産アセットマネジメント事業部 川井田部長】</b></p> <p>セミナー内でお話ししました沿線住民の皆様や沿線企業の皆様へのヒアリング調査等でも、ご指摘頂きましたような交通利便性に関するご意見を多数頂いており、弊社としても様々な課題があることを認識しております。</p> <p>現在は静鉄沿線の基本構想を検討しており具体的な対策には至っておりませんが、貴重なご意見として参考にさせて頂きながら、しずてつジャストライン株式会社とも協議し検討を進めて参りたいと考えております。</p>
<p>静岡のポテンシャル、観光資源がたくさんあることを強調されていましたが、それに対して何をしていきますか。</p>	<p><b>【静岡鉄道（株）不動産アセットマネジメント事業部 川井田部長】</b></p> <p>豊富にある観光資源のPRが不足している、という点は沿線住民の皆様や沿線企業の皆様へのヒアリング調査等の結果により導き出された沿線エリアの課題の一つとして挙げさせて頂きました。</p> <p>現在は静鉄沿線の基本構想を検討しており具体的な対策には至っておりませんが、「観光資源の情報発信力、連携の強化」という考え方を持った中で、観光に来られる来県者や静岡に住む私たちが訪れたいようなコンテンツを検討して参りたいと考えております。</p>

質問等	回答
<p>司法書士業から地域活性化事業に転換されたきっかけ、理由を教えてください。</p>	<p>【(株) クレアファーム 西村代表取締役社長】 意識して転換したわけではなく、農業参入したら、様々な課題が見えてきて、課題解決していこうと動いているうちに、事業が大きくなってしまいました。</p>
<p>オリーブ産業は、大学生一般にとって魅力的な就職先ですか。</p>	<p>【(株) クレアファーム 西村代表取締役社長】 何か新しい事にチャレンジしたい、地域のために行動したいと思うのであれば、面白い仕事になるかと思います。</p>
<p>オリーブを扱った新商品の開発をするための技術、研究、ノウハウはどのように吸収、収集されましたか。</p>	<p>【(株) クレアファーム 西村代表取締役社長】 トライエラーを繰り返し、独自スキームをみにつけました。</p>
<p>有機栽培でしょうか。また、オリーブの葉の利活用はされていますか。</p>	<p>【(株) クレアファーム 西村代表取締役社長】 有機栽培は次のステップです。葉も利用予定です。</p>
<p>一般の者も参加できるファンドの設立などは、視野に入れていますか。</p>	<p>【(株) クレアファーム 西村代表取締役社長】 ある程度事業が成功した時点で検討したいと考えています。</p>